

地域おこし協力隊1年目活動報告

東近江市第8期地域おこし協力隊
家田俊平

東近江市地域おこし協力隊として令和2年2月から活動してまいりました。この1年を振り返ると本当に多様な研修に参加させていただき、これから奥永源寺で林業を中心として生活していくうえで貴重な体験をさせていただきました。

また、林業現場の作業班だけではなく、製材所や木材市場、大工さんなど木材搬出における川上から川下に関わる方々、全国の林業関係者など多くの方々とネットワークを築くことができました。

そして、この1年の活動の中で特に現場の作業であったり、森づくりアカデミーや自伐型林業研修で実際に現場で作業している講師の方や先輩方から指導していただくことが多くの学びにつながりました。様々な現場を体験することで自分がこれからやろうとしていること、また別の林業手法、使っている道具や作業の進め方、山林所有者との関わり方、山との接し方など、本当に多くのことを考える機会をいただきました。

今後自分がどのように活動を進めていくか、そしてどのような未来を描くかは明確に決めているわけではありませんが、現場のリアルな情報に接することで赴任した当初よりはより現実的な構想が描けてきたと思います。

それでは、簡潔ではありますが私がこの1年で活動してきた内容を以下に説明させていただきます。

【参加研修】

永源寺森林組合にて林業研修

- ・ 測量
- ・ 防鹿柵
- ・ スギ・クヌギの植栽
- ・ ヒノキの枝打ち
- ・ 除伐
- ・ 作業道を作るための先行伐採
- ・ バックホーを使用した作業道作設
- ・ グラップルとフォワードを使用した伐採木の搬出
- ・ 広葉樹主体の間伐、枝打ち、玉切り
- ・ 竹林整備



【森林組合での研修の様子】

永源寺森林組合は東近江市で林業の中心にいる組織なので、現場の作業や製材のお手伝いをさせていただいたり、薪づくりやほだぎの菌打ちなど幅広く経験させていただきました。現場の作業では先輩方と同じように動くことはなかなかできませんでしたが、同じ現場で長く作業することで少しは慣れることもできたかなと思います。今は研修という立場ではありますが、将来的には作業班から手伝ってほしいと呼んでももらえるくらい技術を身に付けていきたいです。

また、現場だけではなく測量や森林経営計画、境界選定など現場作業には必ず必要な補助金関係の作業も教わりたいと思っています。

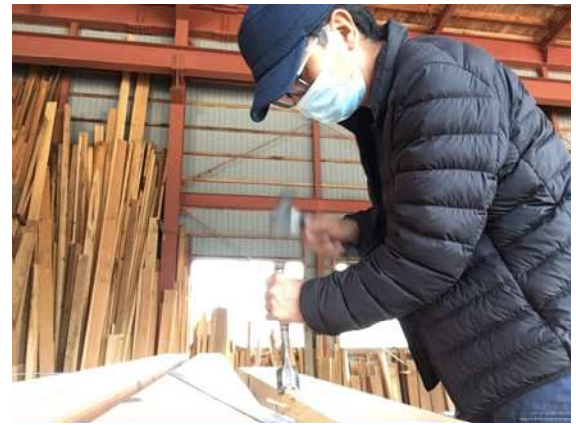
滋賀県主催 森づくりアカデミー新規就業者研修

- ・ 森林・林業の現状
- ・ 集約化施業と森林経営計画
- ・ 森づくりの理念と森林施業
- ・ 木材流通状況、木材の規格



【アカデミーでの研修の様子】

- ・木材市場見学
- ・補助金制度
- ・森林の多面的機能、防災からみた森林の役割
- ・特用林産物
- ・獣害、病害虫対策
- ・製材所、チップ・バイオマス発電所見学
- ・林業機械と作業システム
- ・路網計画
- ・作業道の作設技術
- ・労働安全
- ・チェーンソーの扱い方
- ・作業道作設実習
- ・大工コースインターン研修



【大工コースインターン】

森づくりアカデミーでは森林・林業の制度や考え方、木材関連事業所の見学など普段現場では学べないようなことを総体的に学ぶことができました。特に現場で伐り出した木材がどのような流れで消費者まで運ばれるのか、もし将来自分で現場をもつことになったらしっかり採算のとれる販路を確保できるのかなど、事業を考えるうえで重要な場所を見学することができました。

大工のインターンでは2週間という短い期間の中で在来建築法で鶏小屋を作らせていただいたのですが、研修先では補助金に対する考え方や自分がいかに生きていくのかなど人としての生き方という部分など人生の学びを得ることができました。

自伐型林業研修（奈良県吉野、福井県、米原市）

- ・チェーンソー作業特別教育講習
- ・山林の見方、作業道敷設
- ・伐倒造材、山林経営・個別相談
- ・集材搬出・伐倒造材

自伐型林業は自伐林家が自分の山を施業するように、大規模な皆伐ではなく長伐期多間伐で良い木を残していくような小規模林業を、人の山を使って施業させてもらうことを言います。そういう施業を続けていくためには何度も山に間伐に入るための山に負担をかけない作業道が必要です。その作業道はただ細いだけではなく大雨でも崩れなくて2tトラックで搬出できるようなしっかりした作業道で、大橋式の道づくりと呼ばれます。

この研修ではまず自伐型林業がどういうもので、どうやって収入を得ていくのかなど、自伐型林業の入口の研修です。導入編ではありましたが大橋式の道づくりで有名な岡橋先生にご指導いただくことができ、これからもご相談させてもらえる関係ができたのはとても有意義でした。

鈴鹿10座エコツーリズムガイド養成講座

- ・エコツーリズムの基礎知識
- ・登山の装備・技術及びリスク管理、ガイドの技術・知識、責任・保険など
- ・エコツーリズムプログラム、ネイチャーゲーム
- ・野外における傷病への対処、救命救急法、山村の暮らし、歴史・文化
- ・鈴鹿山脈の哺乳類、鳥類、魚類、野外レクチャー
- ・鈴鹿10座をフィールドにしたエコツーリズムプログラムの作成・実践

東近江市で山に関わっていく中で鈴鹿山脈のことをより勉強して、登山ガイドもやっていけたらという思いで参加しました。研修では東近江市が今後山をどのように活用していきたいのか、エコツーリズムがどういうものなのかなど、登山ガイドをする上で必要な知識

を広く学ぶことができました。今後はエコツーリズムガイドクラブに所属して道の駅での案内や登山道整備をはじめ、登山ガイドも実践していきたいと思っています。

グリーンウッドワーク

ナイフや斧などの手道具を使って生木でスプーンや食器を作成
スプーン、豆皿、木べら、カッティングボード

林業を考えるうえで木材を搬出するだけではなく木材の製品化を自分でできる方が林業を生業にしやすいので生木を使った木工制作のグリーンウッドワーク講座にも参加しました。木工製品と言えばいろんな道具をそろえて使いこなせなければならぬと思っていましたが、グリーンウッドワークは生の素材で斧やナイフなどの手道具だけで作品を作るので、自分でも始めやすいと思いました。

ここで学んだことを活かして現場で使う斧の柄を自分で作ったりしています。

家具づくり

無垢材を使って食器棚作成

家具がどのように制作されるのか、話を聞くだけではなく自分で一度作りたいたいと思い元地域おこし協力隊の先輩にお願いして教えていただきました。

グリーンウッドワークとは違い精密な作業が要求されるのでとても難しかったのですが、いろいろな道具を使わせてもらったり無垢材を使った家具の制作がどのようなものか総体的に学ぶことができました。

大地の再生

- ・社寺林、個人宅の土壌改良
- ・竹炭焼き

大地の再生は造園家の方が植物が元気になるような剪定や間引き、土壌改良の方法を考えて広めていったもので、豊かな山をつくるうえで勉強になると思って参加しています。大地の再生では風が通るように剪定し、イノシシが掘るように穴を掘るなど、自然がやっていることを人間の手でやっというもので、ナラ枯れや過湿土壌の改良などいろいろな場面で役に立ちます。

【資格取得】

林業にたずさわっていく上で資格を取得させていただきました。

- ・チェーンソー
- ・刈払い機
- ・車両系建設機械
- ・不整地運搬車
- ・玉掛け

【2年目の活動】

2年目はこれまで研修で学んだことを少しでも実践に移せるように動いていくつもりです。例えばグリーンウッドワークで実際に作ったものを販売してみたり、大地の再生で学

んだことを活かして土地の改善をするというようなことです。エコツーリズムに関しましても4月からはエコツーリズムガイドクラブに所属して実際に活動していこうと考えています。

本当は林業を実践に移していきたいというところが本音ですが、まだまだ実践力は身につけておらず、地域からの信頼を得るにはまだ力が足りないと感じていますので、林業に関しては引き続き永源寺森林組合で研修していただく予定です。

2年目の目標は林業で信頼を得られるように技術力を身に着けることと、1つでもプロジェクトを動かして実際に成果を得ること。この2つを目標に掲げて前進していきたいと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



【現場作業① 間伐】



【自伐型林業研修①】



【現場作業② 作業道作設】



【自伐型林業研修②】



【現場作業③ 竹林整備】



【エコツーリズム実地研修】